
未来恋作戦

一葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来恋作戦

【Nコード】

N4807A

【作者名】

一葉

【あらすじ】

恋。それは馬鹿げた事を本気にさせてしまう病気だ。作戦。それは不可能に近い物事を可能に近づける為のかり事だ。しかし、そんな作戦を持ってしても恋には敵わない。

僕らのクラスにはマドンナが存在する。マドンナと言っても僕と友人二人との間で囁かれているだけなのだが…

しかし、最近ではそのマドンナがますますその輝きを増してきた。

そこで僕らはある作戦を実行することにした。

そう、二年間思考に思考を重ねてきた『未来恋作戦』のことだ。

それは僕と修一と直人の三人の内、『もつともマドンナの恋人になる自信がある。』と確信した者が他の二人からの賛同を得た上でラブレターを書いてだす、という厳しい男の運命的取り決めのもとに設定されたものだった。

一月になり、修一がいきなり『未来恋作戦』を一番に申し出た。

「今この時期が勝負なんだ。」

右手にコブシを作って灰色の空に掲げながら修一が言った。

理由はこれだけ空気が冷えると人間は心のどこかで暖かいものを求めるようになる。この世で一番暖かいものは人を愛する力だ

というんだかまことに勝手な都合の、しかも動機と基盤のあやしげな内容であった。

「まあやってみなよ。」

僕と直人は潔く修一を支えてやることにした。

固唾を飲むような数日が過ぎた…

作戦決行から一週間。

ついに修一の発作的愛の冒険への返答が来た。

マドンナからのピンクの封筒、小さな手紙。

鉛筆の丁寧な文字には…

「お手紙ありがとう。間もなくお互い貴重な三年生です。勉強にスポーツにベストを尽くしていきましょう。」
という教師の持っている教育指導書の一文のような、どうみても無
惨な言葉が書いてあった。

それ以降、僕と直人は作戦を実行出来ていない…。

(後書き)

読んで下さってありがとうございます!!!中途半端な物語だったと思いますが生暖かい眼で見てくださればマシに見える…はずです!!!この物語は俺が体験したことが多少混じってたりします。もちろん恋の冒険に敗れ去った方ですが…あの時は若かったのですヨ…と余計な事を話してしまいましたがこの物語を書いて再度思った事は…当たって砕けるのにも限度は大切です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4807a/>

未来恋作戦

2011年1月20日00時52分発行